

◆ 2学期中間考査終了

先日、2学期中間試験が終了し、個票を配付しました。1学期の期末試験が終わった後、「もっと勉強すれば解けたはずだった・・・」「課題を始めるのが遅くて、終わらせるのに精一杯だった・・・」といった声が聞こえてきましたが、その反省を生かして学習を進めることはできたでしょうか。夏休みを経て、そんなことはすっかり忘れて、また同じ反省をしている人がいるかもしれません。今回抱いた反省を忘れず、地道に学習を続けて、次回の期末考査で挽回しましょう。

ここで、「努力の壺」の話を紹介します。みなさんが、「〇点以上とる」とか、「〇〇できるようになる」と目標を立てたとき、神様から目には見えない「努力の壺」を渡されます。1回の努力で1滴、努力の水が貯まります。努力を重ねていくと、壺に努力の水が溜まっていきます。壺が努力の水で満たされて溢れたとき、掲げた目標が達成されます。しかし、この努力の壺は、人によって大きさが異なるのです。壺は小さいほうが、すぐに水が溜まることは分かりますね。でも、「運動の壺は小さくて、何でもすぐにできるようになるけど、勉強は大きい。」とか、「数学は大きい、国語は小さい。」など、人によって全く異なるのです。すぐに成果が出なくても、諦めず、コツコツ努力を続けましょう。あと1滴の努力でできるようになるかもしれません。まずは日々の授業を大切に！分からないことをそのままにせず、先生に質問したり、以前の学習内容を振り返ったり、できることから始めましょう。



◆ 働くとは？

2学期、3年生はいよいよ希望進路の決定に向けて大詰めを迎えます。2年生は12月の職場体験に向けた学習も始まります。今学期は、1人1人が自分の進路や将来に向けて深く考えたり、行動を起こしたりする時です。新しい発見や、考え方に触れ、大きく成長する機会になる人もいるでしょう。

みなさんはやがて大人になり、多くの人が仕事に就きます。それはなぜでしょうか。みなさんは将来どんな職業に就き、どのような考えや態度で働いていくのでしょうか。「お金を稼ぐため」「仕事内容が好きだから」など様々な理由があるでしょう。ここでは、働くことや仕事に対する格言、ことわざを紹介します。進路を考えたり職場体験をする前に、皆さんにとっての働く理由について、考えてみてほしいと思います。

- 一方はこれで十分だと考えるが、もう一方はまだ足りないかもしれないと考える。

そうしたいわば紙一枚の差が、大きな成果の違いを生む。／松下幸之助(パナソニック創業者)

- 考えなさい。調査し、探究し、問いかけ、熟考するのです。／ウォルト・ディズニー

- 我々は、最初から苦しむ方向をとったから、あとは楽になった。真似をして楽をしたものは、その後に苦しむことになる。／本田宗一郎(ホンダ創業者)